

2017年度

事業報告書

公益社団法人 岡山青年会議所

2017年度スローガン

J C I スローガン

Be Better.™

公益社団法人日本青年会議所 スローガン

自己成長を求め「日本道」を歩もう
「日本を変えるのはオレたちだ!!」

公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会スローガン

自立したまちと、
人とひとが集う中国の実現

公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会スローガン

誰もが誇れるまちと
豪傑たちが集う岡山の実現

公益社団法人岡山青年会議所スローガン



〔目 次〕

I 事業報告	3
理事長、副理事長、専務理事、常任理事、監事	
II 組 織	8
1. 会 員	8
2. 組 織 図	10
III 出向者報告	11
IV 委員会活動報告	18
V 会 議	21
1. 総 会	21
2. 理 事 会	22
VI 例 会	25
VII 諸 事 業	26
VIII 褒賞関係	27



基本理念 「おかやま」にとってもっとも存在意義のある団体であるために、拡張性のある活動を意識することで、岡山青年会議所の価値を高めよう。そして、自律したひとづくりを通じて、誇りと自信を胸に郷土おかやまのために活動し、まちとひとと岡山J Cの未来への確かな一歩を踏み出そう。

基本方針 郷土おかやまに対する責務として、自律したリーダーを輩出するために、明確なビジョンをもって成長しよう。私たちメンバーひとりひとりが輝くことによってその魅力を伝え、岡山青年会議所の存在感を高めよう。

スケーラビリティを意識し、行政や他団体と連携を密にすることで、存在意義のある事業の確立に挑戦しよう。新しい感受性と先見的な感覚をさらに磨き、誇りに想えるまち「おかやま」を創造していこう。

ひとりひとりが「おもてなし」の精神で、互いを尊重し、真におもいやり、築き上げる繋がりを持って、岡山青年会議所の価値を高めよう。すべてのことに意味を見出す積極性をもって取り組み、深く、そして高潔な友情を培おう。

青年会議所の心髄を追及し、一義のある空間を創出しよう。地域からより必要とされる公益団体へと力強く進化する為に、未来を見据えて見聞を広くし、秩序を正して時代に即した組織運営を確立しよう。



I 事業報告

理事長 高見 宣 哉

2017年度はスローガンを「為虎添翼～限界突破インテンション～」と掲げ活動をしてまいりました。不安定な社会情勢や加速度的に圧縮される時間軸など、多くの困難に直面している状況であっても、私たちは凛然と輝ける存在でなければなりません。その唯一の道は、まちとひとに活力を与え、存在感を示すことであると、1年間を振り返って改めて確信しています。

さて、2017年度の公益目的事業は、スケーラビリティ（拡張性）をテーマとして、他団体と連携協力して各々の強みを活かしながら事業を実施いたしました。「キッズスポーツフェスティバル」では、岡山シーガルズやファジアーノ岡山とともに、スポーツを軸に郷土愛を育むことを目的に、非常に注目度の高い事業を実施することができました。また、「キッズビジネスパーク2017～だれかのために！で広げるおかやま～」は本年度で4回目となりましたが、参加児童数を一気に1000名に拡大し、県内外の企業、団体、行政、学校とともに子どもたちの職業体験事業を行いました。子どもたちは働くことの喜びや大変さを実感し、同時に、参加者のご家族や当日ご協力いただきました皆様を含めると6000名を超える規模での開催となり、学びや気づきの多い有意義な事業となりました。また、それぞれの事業が青年会議所の内外で表彰いただけたことは、歴の短いメンバーが多い中で喜びや自信を共有する原体験となりました。

第24回うらじゃは、二日間とも晴天に恵まれた中、大きな事故もなく無事に終えることができました。誕生から四半世紀を目前に、岡山の夏の風物詩としてなくてはならないまつりへと成長したうらじゃ。桃太郎通りでの実施や一層の振興活動等、更なる活性化のために目標や課題に対して今後も粘り強く取り組むことが必要であると考えています。

他にも多くの事業も実施いたしましたが、郷土おかやまのまちとひとのためであるとともに、岡山青年会議所の未来も担った活動であることを意識して取り組んでまいりました。即ち、私たちの活発な活動や凛とした振舞いが会員拡大に直結するという信念のもと、特別会員の皆様のご協力もいただき、前期後期で20名の新会員が加わり、一層新しい組織に移り変わりました。かけがえのない関係を深め、切磋琢磨することで情と理を高めていく本質は変わることなく連綿と紡いでくれるものと期待しております。

日頃より応援いただきました特別会員の皆様をはじめ、関係各位におかれましては、大変大きなご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。また、現役会員の皆様には、本当に有意義な時間をともに過ごさせていただきました。皆様のご尽力により、鈍色の私が組織の艶色のために活動できたこの2017年は生涯忘れることのない経験と感謝の溢れる一年になりました。そして予定者の時から常に一番近くで誰よりも全力で支えてくれました野上専務理事への感謝の想いは、的確に言い表す言葉が思い当たりません。本当にありがとうございました。

岡山青年会議所の更なる発展と皆様方のご健勝を心より祈念を申し上げまして、事業報告とさせていただきます。



副理事長 李 大成

本年度は岸委員長率いる会員研修委員会、古市委員長率いるリソース向上委員会とともに、岡山青年会議所のひとづくりに携わらせていただきました。

岡山青年会議所はひとづくりに特化したL O Mです。郷土おかやまの未来に必要とされる人財を輩出するため、そしてその人財を増やすために、まずは対外対内ともにJ Cを好きになってもらうことを願いました。修練・奉仕・友情を最大限育む研修を行うことで、成長して格好良くなったメンバーが岡山青年会議所を好きになり、自発的に自信を持って知人を勧誘してメンバーの拡大に繋げていく。相手のことを思うからこそ入会を勧める。そんなループを描ける様なひとづくりを意識して行って参りました。

今年の新会員が将来岡山の宝になるように、また、長期ビジョンの会員数達成のために、ひとづくり室2委員会のメンバーは皆輝きを放って活動してくれました。研修の成果はこの一年ではなく、今年が終わってからどの様な人財になっていくかによりませんが、拡大の成果は30名を超える拡大を行えたことで、これからのロールモデルとなると確信しています。

今後も岡山青年会議所のリソースを向上させていくことを次代に期待してバトンを渡し、内外ともに岡山青年会議所の魅力が伝わることを、そして魅力が上がっていくことを心から願います。

最終年度、このような素晴らしい機会を与えていただいた高見理事長、いつも支えていただいた両委員会の委員長はじめメンバーの皆様、色んなところで応援いただいた特別会員、現役会員の皆様に御礼申し上げ、事業報告とさせていただきます。



副理事長 小 林 佑 輔

本年度、高見理事長のもと、末長委員長率いる「スケーラビリティ創造委員会」と正保委員長率いる「まちづくり委員会」の2委員会を担当させていただき、岡山のまちから必要とされる団体であり続けるために、より存在感を示すべく活動をしてまいりました。

スケーラビリティ創造委員会では、「キッズスポーツフェスティバル」バレーボール編とサッカー編を開催し、岡山に根付いたスポーツ団体と協働し、おかやまに誇りを持ってもらえる健全な事業を行うことができました。また、「キッズビジネスパーク」では、1000名を超える小学生に参加していただき、スケール感をもった職業体験事業を行うことができました。まちづくり委員会では、「第24回うらじゃ」を過去最大数の協賛企業のご協力のもと、大成功裏に終わらすことができました。また、振興事業にも力を入れ、多くの市民にうらじゃを浸透させることができました。事業を通して両委員長の素晴らしいリーダーシップのもとメンバーも成長できたことと確信しています。

最後になりますが、一年間多くの特別会員、現役会員にご支援ご協力を賜りましたこと心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。



副理事長 青 木 浩 平

本年度、高見理事長のもと、会員交流室副理事長として、仲村委員長率いる交流推進委員会、柴田委員長率いる渉外委員会と共に、今までにない責任感を感じ活動させていただいた一年でした。

予定者段階から準備を行った新年賀詞交換会の設営、スポンサーLOM、友好LOM交歓会の設営、日本JC、JCI、各種ミッションの取り纏めを職務とし活動して参りました。予定者段階から明るい豊かな社会の実現には、人と人が強固に繋がり、真剣にお互いに思いをはせ、醸成する強固な一体感に基づいた組織力が不可欠だと考え、人と人との強固な繋がりを、築き永続させて行くために、会員が義務的に交流するのではなく、互いの成長を考え、思いやり、そして固定観念にとらわれることのない価値観を取り入れた、交流の場を提供することに務めて参りました。時には、厳しいお言葉をいただく事もありましたが、それを糧に会員交流室一同が試行錯誤を繰り返し、一体感を醸成できたのも、LOMメンバーの皆様よりご支援、ご協力をいただいたからでございます。

最後になりましたが、会員交流室の活動に対し御支援頂きましたLOMメンバーの皆様に、感謝を申し上げ事業報告とさせていただきます。今まで本当にありがとうございました。



専務理事 野 上 昌 範

本年度、高見理事長のもと、専務理事として総務室の磯島常任理事と共に、藤井委員長率いる例会委員会と金沢委員長率いる総務委員会を担当させていただきました。「為虎添翼 ～限界突破インテンション～」のスローガンのもと、責任ある組織運営をおこなう為に、66年間、諸先輩から受け継いできた歴史と伝統を紐解きながら、未来を見据えての組織運営に取り組んで参りました。

例会委員会には、おもてなしの精神と礼儀礼節を弁え、会員の資質向上の一助となるような企画運営に取り組んでいただき、参加することに意義を見出せる例会を開催するべく例会委員会のメンバーの皆様が活動に取り組んでいただいた事で本年も無事に活動できた事に感謝を申し上げます。

総務委員会には時代に即した組織運営への進化を念頭に運営をしていただく事で、本質は変えることなく新しい組織運営の確立の礎を築く一年となり、組織運営の中で公益性についての考えを持ち、透明性・公益性に拘ることで様々な会や事業の運営管理を無事にできた事に総務委員会メンバーの皆様に感謝申し上げます。

最後になりましたが特別会員の皆様、現役会員のご厚情に深く感謝を申し上げ、事業報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。



常任理事 磯 島 慈 海

高見理事長が掲げられる『為虎添翼』のスローガンの下、特に拡張性を重視して、岡山青年会議所がより周りを巻き込んだ活動を行えるよう、そして、行った運動が広がりをもたせるよう、意識の共有について微力を尽くさせていただきました。

また、短期間で卒業を迎えるメンバーが増え、組織内変化が強く現れる中で不易と流行のバランス保ち、総務室として円滑な組織運営ができましたのも、偏に野上専務理事の指導力と藤井委員長と金沢委員長、そしてメンバーの支えによるものと感謝いたしております。

そして、一年間、関係各所と特別会員の皆様より多大なご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。



監 事 岡 部 憲 一 郎

本年度は高見理事長より監事という大役を仰せつかりました。公益社団法人岡山青年会議所も皆様の尽力により会員数の底を打ち僅かではありますが増加傾向になりました。しかしながら長年青年会議所に携わってきた方達も卒業に差し掛かり、入会して4年未満の会員が三分の二を超える会員構成となり、その形も長らく続く事が予想され、新たなスタンダードが構築される必要がありました。そういった背景の中で岡山青年会議所の監事として理事長の掲げた理念や基本方針、所信に基づく事業が実施されているかどうか、また公益社団法人としての組織運営が達成されるように客観的な視点で監査し、また「不易と流行」についても意識を置いて、理事会に対し発言をさせていただきました。時には事業の内容についても発言する事もあり、監事という職務を全うする難しさを感じた事もありました。

例会等においては会員の皆様にご理解、ご協力をいただき、監事として発言をさせていただきました事に関しましてこの場を借りてお礼申し上げます。

この経験を活かし、次年度も岡山青年会議所活動に精進いたします。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



監 事 久 松 朋 史

本年度、高見理事長より監事の職務をいただき、私にとっても15年目の最終年度ということもあり、岡山青年会議所の問題点や今後の方向性などを客観的な視点から見つめることができる貴重な1年でした。公益法人格を有する団体として、より透明性の高い運営や会計が適正に行われているか確認させていただきました。会員研修委員会にも参加をさせていただき、諸先輩方のご講演を聞かせていただくなかで改めて学びにを得る機会をいただきました。例会や理事会等で監事講評をさせていただく際には、入会年数の浅いメンバーが増えるなか、不易流行を意識しながら今後の発展を願い、時には厳しいことも申し上げさせていただきました。少しでも今後の岡山青年会議所の発展につながれば幸いに存じます。最後にこのような経験を与えていただきましたメンバーの皆様から感謝申し上げ、事業報告とさせていただきます。

Ⅱ 組 織

1. 会 員

(1) 正 会 員

2016年度末会員	90名
2017年度特別会員加入者	17名
2017年度新規入会者	22名
2017年度中途退会者	3名
2018年度特別会員加入予定者	12名
2017年度末会員	92名

退会者 有森 文紀
児玉 圭司
佐藤 充展

休会者 木村 治貴

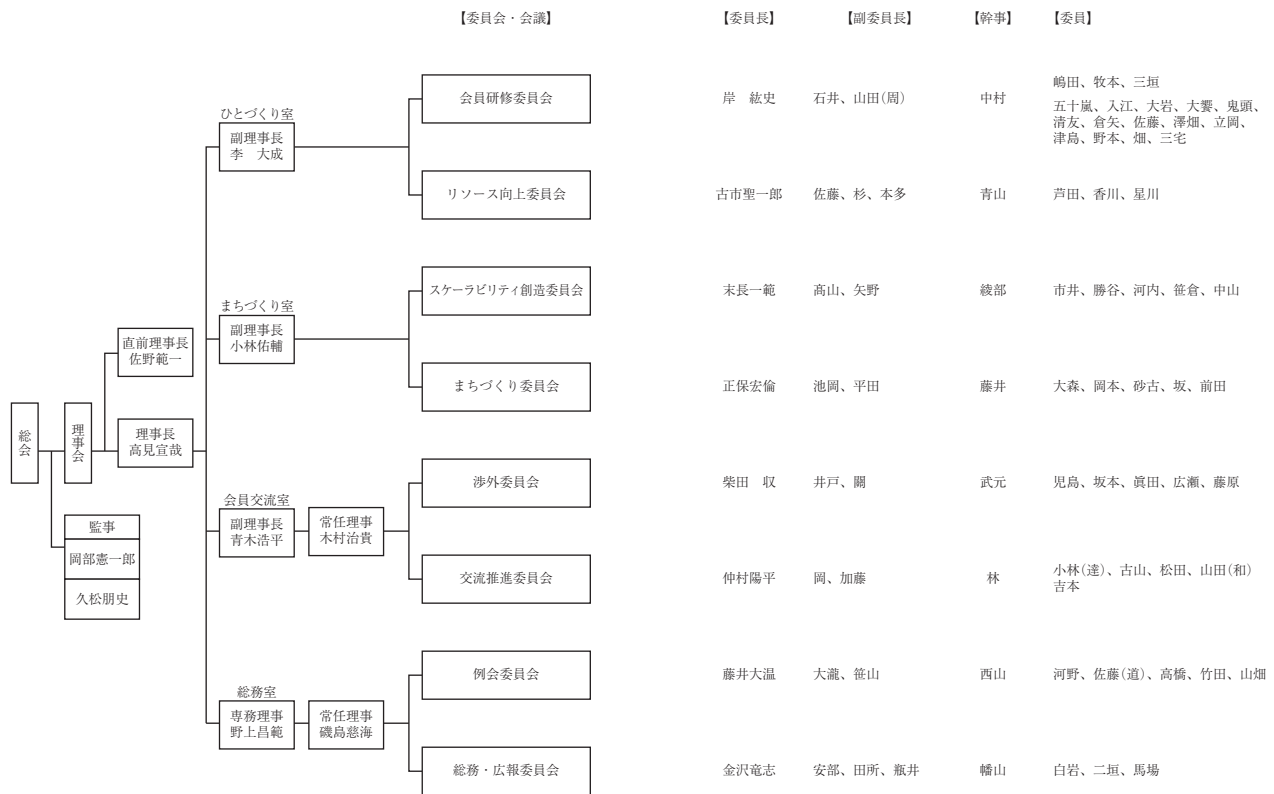
(2) 特 別 会 員

2016年度末会員	755名
2017年度加入者	17名
2017年度物故会員	8名
2018年度加入予定者	12名
2018年1月1日会員	776名

物故会員 小河 三郎
林 莊治
藤井 孝洋
木村 徹
渡辺 斉
野津 喬
佐藤 真治
三宅 泰利

区分	氏 名	勤 務 先	年／月
前期新規入会者	児島 都史	護美飼糧(株)	2017/1
	笹倉 歩	クラブン(株)	2017/1
	佐藤 道康	AIU損害保険(株)	2017/1
	坂 俊介	山陽放送(株)	2017/1
	古山 久幸	(株)環境クリーン	2017/1
	三垣 章一	(株)三垣建材店	2017/1
後期新規入会者	五十嵐尚輝	エヌエス日進(株)	2017/7
	入江 清晃	(有)入江産業	2017/7
	大岩 裕季	(株)レイ	2017/7
	大饗 千鶴	(株)あすなろコーポレーション	2017/7
	鬼頭 孝暢	(株)セブンツーカーカンパニー	2017/7
	清友 利昭	(株)SEIYU	2017/7
	倉矢 悠毅	(株)とよも	2017/7
	佐藤 一弥	丸建道路(株)	2017/7
	澤畑 優太	さわはた法律事務所	2017/7
	立岡 海人	立岡靴工房	2017/7
	津島 周史	医療法人たくふう会(株)エルダー	2017/7
	野本 智也	ソニー生命保険(株)	2017/7
	畑 利昌	大和被服(株)	2017/7
	三宅 信也	(株)ThreeArrows	2017/7
特別会員新規加入者	芦田香奈子	タワービル興業(有)（割烹美作）	2018/1
	市井 秀樹	(株)大林組	2018/1
	佐野 範一	山佐(株)	2018/1
	正保 宏倫	正設工業(株)	2018/1
	白岩 真人	テレビせとうち(株)	2018/1
	高見 宣哉	タカミエージェント(株)	2018/1
	久松 朋史	(株)サンホーム岡山	2018/1
	藤井 大温	(株)タイオン365	2018/1
	牧本 太郎	(株)リペアル	2018/1
	山田 和範	サンワサプライ(株)	2018/1
	山田 周作	(有)平成食糧	2018/1
	李 大成	(株)Leeホールディングス	2018/1

2. 2017年度 公益社団法人 岡山青年会議所 組織図



Ⅲ 出 向 者 報 告

公益社団法人 日本青年会議所

J Cブランディング会議 議長 李 大 成

本年度、日本青年会議所 J Cブランディング会議 議長として出向させていただきました。内容としては機関誌WE BELIEVE、ホームページ、ニッポンサイコープロジェクト、各種SNS、メルマガ、プレスリリース、セミナー、記者会見、各事業の取材、動画配信等々、数えればきりがなほど年間の担いが膨大でした。岡山青年会議所はじめ集ってくれた全国のメンバーにお支えをいただき、ブランディングを意識した広報を進めて参りました。

自分の中に一番芽生えたのはとにかく感謝の気持ちです。持てる全ての力を出し切った時に己の無力さを知り、本当の人の有り難さに気付く。その時本当の強さを手に入れることになる。青木会頭の所信の最後に書かれてあることですが、そのことを京都會議の時に実感しました。どれだけ頑張ろうが所詮一人の力なんて本当にちっぽけなものです。運命共同体という和の心がいかに大切であるかということを感じさせられました。そしてJ Cが本当にすごい組織であるということを実感しました。

J Cブランディング会議の活動はLOMにも活かせることが非常に多く、むしろブランディングを意識してLOM事業をしないととてももったいないということに気付かされました。J Cが行う政策はまちのためになるにもかかわらず、なかなかまちに浸透していません。J Cはその存在や活動を、全力でまちにPRすべきです。同時にブランドを守るためにメンバー一人ひとりが誇りと気概を持って社会に対峙することで、J Cは世の中にもっともっと存在価値を高めることとなるでしょう。

岡山青年会議所は素晴らしいLOMです。今後ますますその良さを戦略的に発信していくことを願います。

最後に、私にこのような機会をいただいた高見理事長、特別会員の皆様、支えてくれた執行部の皆様、ひとづくり室の両委員会メンバー、そして一年間ついて来てくれたJ Cブランディングメンバー、色んなところで応援いただいた全ての皆様に心より御礼申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

J Cブランディング会議 総括幹事 本 多 高 明

本年度、初めて日本に出向させていただくご縁をいただきました。

J Cに入会する時と同様に出向すべきか考えたのを覚えています。最初に総括幹事を近年で経験された方がLOMにはいないのでどういった動き、役職なのかをあまり理解できず返事をさせていただく結果となりました。正直私も分からないままここまで来たというのが正直な感想です。しかし本年度経験させていただいた事は入会して経験したことのないことばかりでした。他の方に伝える時は、自分がしっかりと理解した上で伝えなければならないこと、日本J Cの事業や用意のスピードの速さなどLOMで活動しているだけでは経験できないことばかりでした。

最後にこのような機会を与えていただいた高見理事長はじめ岡山J Cの皆様には感謝いたします。本当にありがとうございました。

J Cブランディング会議 委員 青 木 浩 平

本年度、日本青年会議所総務グループJ Cブランディング会議に委員として出向させていただきました。日本青年会議所の広報を担当する委員会、J C運動を発信していく上で、J Cのイメージをいかに向上させていくかが、重要なことであると認識いたしました。独立自尊したJ Cの価値を高めるその一員として、様々な会議、ミッションに参加させていただき、自己の見識を深めていったのはもちろん、メンバーとして一年間活動させていただいたことは誇りであり、そして、出向において様々な場面で、ご支援・ご協力賜りました皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

J Cブランディング会議 委員 岡 部 憲一郎

本年度は李議長の元、J Cブランディング会議に委員として出向させていただきました。前年の日本青年会議所の副委員長としての出向と違い、委員としての出向でありましたが、昨年の経験を活かし、他LOMの方達との関係を深め、また会議体の主目的である、青年会議所のブランディング化という課題に向き合わせていただきました。今後もこの経験を岡山青年会議所において、活かすために構築し、また日本青年会議所に対する出向についても様々な面で推進したいと思っています。最後に出向させていただき、支援をくださった、高見理事長をはじめ、岡山青年会議所の皆様に感謝を申し上げます。

J Cブランディング会議 委員 二 垣 幸 広

公益社団法人日本青年会議所 総務グループ J Cブランディング会議に委員として出向させていただきました。小会議には属さず、本多総括幹事の補佐としてスタッフの皆様と行動を共にさせていただき、大変勉強になりました。月に約3回東京を中心として全国各地を飛び回り、6月のASPACではウランバートル、11月の世界会議ではアムステルダムと海外ミッションにも参加いたしました。どれを取っても貴重な経験で、時間とお金を懸けた以上に得ることが多かったです。当初カメラや写真撮影に興味はありませんでしたが、今では被写体を撮ることが楽しくなりました。また出向の機会をいただけるなら、新たなステージで挑戦したいです。

J Cブランディング会議 委員 広 瀬 政 子

本年度、公益社団法人日本青年会議所 J Cブランディング会議に委員として出向させていただきました。ダブルの出向でしたが、李議長の下では是非一緒に活動させていただきたいと思い参加させていただきました。広報という立場で通常では立ち入ることのできない会議や式典にも参加することができ、青年会議所活動の中心となる事業や活動を、1年を通じて経験することができたことはとても貴重な体験となりました。そして何より、この会で1年間ともに活動した全国から集まった仲間との出会いが一番の私の貴重な財産だと感じています。行かされるのではなく、行きたいと思えるような、そんな出向でした。送り出して下さった高見理事長、そして引っ張って下さった李議長、本当にありがとうございました。

J Cブランディング会議 委員 牧 本 太 郎

本年度、公益社団法人日本青年会議所 総務グループ J Cブランディング会議に委員として出向させていただきました。広報担当の会議体ということで青年会議所が開催する様々な事業の取材ならびにインターネット・SNS利用した広報活動に携わらせていただきました。日本青年会議所が開催する多数の事業や国際大会の裏側を見れたこと、年間を通してブランディングを意識した広報活動を行ったことは、多くの学びを得ることができる貴重な体験でした。また、全国のメンバーと交流を持てたことも大きな財産になったと思います。このような機会を与えていただき誠にありがとうございました。

渉外委員会 直前会頭補佐 吉 本 昌 弘

昨年12月に出向の依頼を頂き承諾いたしました。

まずは直前会頭の思いもあり、大阪にて補佐チームで懇親会を定期的に関き皆さんと親睦を深めることが出来ました。

補佐業務についてですが、各地青年会議所にて講演を行う際にセクレタリーとして帯同する業務が多々あり、補佐チームではスケジュール管理アプリを使用し2名選抜き帯同していました。

私はその中で、6月28日の立川青年会議所で行われた例会兼講演会に出席させていただき、様々な体験をしてみたいました。講演準備の設営から例会・懇親会では岡山青年会議所では体験できない他LOMの考え方など刺激を受けました。

次年度では、たくさん受けた刺激・考え方を、青年会議所活動へ活かしてみたいと思います。

総務委員会 運営幹事 關 和 敏

本年度公益社団法人について総務グループ総務委員会運営幹事として出向をさせていただきました。日本青年会議所及び各地会員会議所の活動が円滑にできることに邁進して参りました。共に出向をしていただきました安部君、加藤君におかれましては多大なるご尽力を賜りこの場をお借りして御礼申し上げます。この経験を活かしLOMに還元して参ります。最後になりましたが、高見理事長をはじめとされる執行部の皆様におかれましては出向というチャンスを与えて頂きましたこと感謝御礼申し上げます。

総務委員会 委員 安 部 真 良

先ずをもちまして、公益社団法人日本青年会議所 2017年度 総務グループ 総務委員会に出向させていただきましたことを、高見理事長をはじめとするLOMメンバーの皆様へ感謝申し上げます。日本総務委員会では青年会議所の本質を勉強させていただきました。京都会議から始まり理事会、総会などLOMでは経験できないことを数多く経験させていただきました。何より青木会頭のお話を聞く機会が多くあったのは総務委員会冥利だと思います。今後も全国各地に沢山の友人もでき、かけがえのない時間を過ごさせていただける日本出向にチャンスがあれば行きたいと思ひます。また、チャンスのあるメンバーには是非自ら手を上げて出向していただきたいと思います。貴重な機会を誠に有難うございました。

総務委員会 委員
加藤 高明

入会3年目にして、初めて公益社団法人日本青年会議所へ出向した。右も左もわからないことしかなく、初めて会う顔ぶればかりで混乱の中、出向者としての一年三カ月が始まった。幸いにも、副運営幹事、安部委員がいてくれたこともあり、なんとか出向の責を全うできた。

主に、各種会議の設営を行い、日本青年会議所ならではの手法を多く学んだ。また、日本青年会議所に各地会員会議所から出向してきているメンバーとの出会いの機会を得た。これらは、出向しなければ得られなかった貴重な経験と人脈となった。

出向の経験と人脈を生かし、今後の青年会議所活動に役立てるとともに、郷土おかやまの発展に寄与したい。

公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会

会長
佐野 範一

公益社団法人日本青年会議所中国地区協議会会長、そして公益社団法人日本青年会議所地区担当常任理事として出向させて頂きました。

中国地区協議会会長としては、5ブロック協議会54会員会議所からなら中国地区に所属するメンバー同士の繋がりを持つ事を主眼に活動してまいりました。そして、各地域で必要とされているインフラ整備を求めると、教育再生と経済再生により「自立したまちと、人とひとが集う中国の実現」を目指して運動してまいりました。

また、地区担当常任理事としては、日本青年会議所の事業・運動を作り、政策を広めることに関わったこと、自らの地域だけではなく国家のことを考え行動する尊敬できる多くの同志と出会えたことは大きな財産となりました。

最後になりますが、中国地区協議会の事務局を支えて頂いた出向メンバーには、感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございます。

運営専務
磯島 慈海

佐野会長が掲げられる「自立したまちと、人とひとが集う中国の実現」を達成するべく、中国5県のJCメンバーと地域発展の一助となるために、切磋琢磨の活動をさせていただきました。

当初、事務局長として出向させて頂き、事務や議案を日々処理している中、諸事情あり、運営専務の役職をいただき、2つの役職を半年間づつ体験できるという、非常に恵まれた経験をさせていただきました。それぞれのブロックやLOMのやり方や考え方が違う中で活動を行うことで、中国地区協議会の組織内の現状を深く知ることができ、中国地区は54LOM間の意識格差が誠に顕著な地区であると感じましたし、私たちが何気なく所属する岡山ブロックは他の4ブロックに比べ意識格差が少なく、一体感があり、そして厳格なブロックであることが、中国地区に出て調整役として活動する中で、初めて感じる事ができました。

これら、特別な出向経験をさせていただいたのも、高見理事長はじめとされますメンバーの皆様の支えのお蔭と感謝申し上げます。中でもご指導いただきました佐野直前理事長、及び出向委員会として活躍いただきました柴田委員長はじめとされます渉外委員会の皆様には心より感謝申し上げます。

副運営専務
柴田 収

本年度、公益社団法人日本青年会議所中国地区協議会において、副運営専務として出向させていただきました。

本年度中国地区協議会はさまざまな事業を実施いたしましたが、事務局はそれらの事業がスムーズに実施できるよう、日々役員会議や正副会議の設営をして、縁の下の力持ちとして活動しておりました。そして、これらの活動を通して中国地区5ブロック54LOMの多くの方々との絆を築くことができました。

私自身は1月から3月の半ばまでは運営専務代行を務めた一方で、途中で網膜剥離を患い長期間離職せざるを得ませんでした。そのような中で私に代わって事務局を引っ張ってくれた井戸事務局長に、この場を借りて改めて感謝の意を表します。

事務局長
井戸 啓太

本年度、公益社団法人日本青年会議所中国地区協議会、事務局長として出向させていただきました、井戸啓太と申します。

佐野会長を筆頭として、公益社団法人日本青年会議所中国地区協議会2017年度は「自立したまちと、人とひとが集う中国の実現」というスローガンのもと運動を推進してまいりました。

中国地域54LOM間の連携を一層強化し、リーダーシップの相乗効果によって中国地方全体の更なる発展を牽引する活動の中で、事務局長としていろいろな地域のメンバーとかかわることができ、地域LOMを超えた友人ができたことは、生涯の宝となりました。

私を中国地区協議会に出向させてくださった高見理事長、本当にありがとうございました。

総括幹事 武 元 浩

本年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 総括幹事として出向させていただきました。佐野会長の補佐として中国地区を回る事によって、地区内の色々なL O Mの皆さんと交流を深める事が出来ました。交流を深めた方と他の事業でお会いすると本当に地区に出向して良かったと思います。会長と共に中国地区出向し地区の交通の不便に気づき、地区の山陰道、山陰新幹線署名活動の大事さに気づきました。

一年間大変でしたが地区に出向して今までにない大切な交流、経験が出来ました。

会長補佐 児 島 都 史

新会員研修を終えて半年という渉外委員会の一員でしたが、佐野地区会長の補佐として活動させていただきました。地区の活動での素早い対応で活動されているのを見て勉強にもなりました。会議の準備など分からない事ばかりでしたが、色々教えてもらい良い経験になりました。

仕事と重なりなかなか参加する事ができず周りのメンバーにお願いする事が多かったですが、佐野会長のお話も聞かせて頂いて勉強になりました。

今回、渉外委員会に配属になりまだJ C活動をわかっていませんが、これからのJ C生活での良い経験になりました。この経験を生かして活動に繋げていけたらと思います。

会長補佐 眞 田 優 作

2017年度日本青年会議所中国地区協議会会長補佐として出向させていただきました。2016年度から中国地区協議会へ出向させていただいており、他のL O Mの顔見知りの方もおられて参加した際は、昨年とは違ったいろいろなお付き合いが始まり良かったです。また、仕事でお付き合いのあった方とも数年ぶりに再会などできてまた交流を深めることが出来て良かったです。いろいろな人と知り合い、繋がる事が出来て高見理事長には大変感謝しております。一年間出向させていただきましたありがとうございました。

会長補佐 広 瀬 政 子

本年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会に会長幹事として出向させていただきました。補佐という立場ではありませんでしたが、佐野会長をはじめとする役員の皆様とこれほどまでに近い距離で活動を共感できる機会を与えていただいたことをありがたく感じています。中国地区の繋がりやの強さを直に感じる事ができ、また会長と共に中国地区各地に赴き他L O Mの多くのメンバーの方々と交流を深めることができました。改めて自分の住み活動している地域のことが好きになったように思います。今回いただいた沢山の学びと沢山のご縁を大切に、今後の活動に繋げていきたいと思っています。送り出して下さった高見理事長、そして佐野会長に感謝いたします。ありがとうございました。

会長補佐 藤 原 由 季 子

本年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会に会長補佐として出向させていただきました。当初は新会員研修も終わっただけで、会長補佐としてどのような動きをすればよいのか分からないことだらけでしたが、まずは出席できる限り頑張ってみようと考え、一つ一つ取り組んでまいりました。

中国5県から出向されている皆様とお話の中で、他L O Mと岡山との違いを実感することもありました。また、各地の女性会員をはじめ、多くの人とつながる機会をいただけたことは今後の青年会議所運動の貴重な糧になると思います。最後になりますが、貴重な機会を与えてくださった高見理事長、本当にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会

監査担当役員 久松 朋 史

本年度、公益社団法人日本青年会議所中国地区岡山ブロック協議会へ監査担当役員として出向させていただきました。太田会長の強いリーダーシップのもと、県内各地から出向してくる多くのメンバーと共に事業を協議し、貴重な時間を過ごす中で懇親を深めることができました。近年、公益社団法人の会計処理は複雑化しており、対応するなかで新たに知識を得ることもできました。1年間通じて職務を全うできましたのも高見理事長はじめとするメンバーの皆様のご支援、そして補佐をしていただいた岡本浩君、平田知之君に御礼申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

監査担当役員幹事 岡 本 浩

本年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 久松監査担当役員の幹事として出向させていただきました。

岡山県内15LOMから豪傑たちが集う役員会議や会員会議所会議に出席させていただき、とても貴重な経験をさせていただきました。久松監査担当役員はもちろんのこと各地15LOMの役員団、幹事団とも仲良くさせていただき、あまり歴のない私にとって、とても貴重な財産をつくることができました。

最後にこのような機会を与えていただきました高見理事長をはじめメンバーの皆様、本当にありがとうございました。また、久松監査担当役員には心よりお礼申し上げます。

総務委員長連絡会議 副議長 岡 恭 弘

本年度、岡山ブロック協議会総務委員長連絡会議に副議長として出向させていただきました。事業としてU-11少年少女サッカー大会の運営や岡山ブロック協議会アワード・卒業式・大懇親会を設営いたしました。また、ホームページ・フェイスブックの管理・更新を担当させていただきました。岡山ブロックに初めて出向させていただき県内各地の他LOMメンバーと共に活動する機会をいただき、岡山青年会議所の良いところを再確認することが出来たと共に、他LOMの方々の設営方法や、岡山に対する考え方を知る事が出来、新たな学びと、新たな友情を同時に得る事が出来ました。この経験を、今後の青年会議所活動にいかして参りたいと思います。出向の機会をいただき誠にありがとうございました。

総務委員長連絡会議 議員 大 瀧 健 嗣

本年度、公益社団法人日本青年会議所 岡山ブロック協議会 総務委員長連絡会議の議員として出向させていただきました。

初めての出向ということもあり最初は緊張して会議に出席しておりましたが、担当の堀江副会長と金定議長の気さくで非常に温かい人柄からか、回を重ねるごとに緊張もほぐれ楽しく出席させていただきました。事業といたしましてはJCカップU-11少年少女サッカー岡山大会、岡山ブロックの卒業式の運営に携わらせていただき、多くの学びと気づきがありました。

出向という貴重な機会をいただき、また支援してくださったLOMメンバーに感謝を申し上げ出向者報告とさせていただきます。

未来の豪傑増強委員会 副委員長 山 田 周 作

本年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 未来の豪傑増強委員会に副委員長として出向させていただきました。毎月の委員会でLOMの会員拡大についての会議や「誇り高きJAYCEE」を一人でも多く増強できるかについて話し合いました。各LOMの貴重な話を聞くことにより情報交換の場となり新たな発見がありました。今後、岡山青年会議所の為、良いことは共有していきたいと思います。大変良い経験となりました。このような経験をさせていただき誠にありがとうございます。

未来の豪傑増強委員会 委員 小 林 達 人

本年度、2017年度 公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会 未来の豪傑増強委員会 委員に出向させていただきました。少ない参加回数でしたが、他LOMの皆様とも交流を深める事ができ、刺激を受け、多くの学びを得ることができました。また、岡山青年会議所から同委員会に副委員長として出向している山田副委員長の豪傑ぶりに、改めて岡山青年会議所の素晴らしさを実感した一年となりました。

本年度、貴重な機会を与えてくださいました高見理事長をはじめとするLOMメンバーの皆様、本当にありがとうございました。

地域経済再興委員会 副委員長 石 井 聖 至

公益社団法人日本青年会議所中国地区岡山ブロック協議会地域経済再興委員会に副委員長として出向させていただきました。
岡山ブロック内の多くの仲間と、時間を共有するきっかけをいただけたことで、楽しい思い出と大きな成長を得ることができました。

それぞれの地域で、明るい豊かな社会を築こうとする同志と、刺激しあい、時にぶつかりながらも、一つの目標に向かって取り組んでいく時間は、かけがえのないものです。

これからも出向するチャンスをいただけた時は、前向きに、そして積極的に取り組んでまいります。

このような機会をいただきました高見理事長、そしてメンバーの皆さまには心より御礼申し上げます。有難う御座いました。

全うな日本人育成委員会 副委員長 瓶 井 潔 英

本年度、岡山ブロック協議会 全うな日本人育成委員会に副委員長として出向させていただきました。当委員会は投票権を得た若年層に対し、主権者意識を醸成させ意識改革を起こすことを目的に運動を展開する予定でしたが、フォーラムを開催することが出来ず残念に思っています。ただ、この機会がなければ決して出会うことがなかった他L O Mの皆様と交流でき、本当に色々なことを勉強させていただきました。このような機会を与えていただいたことへ感謝し、深く御礼申し上げます。有難うございました。

全うな日本人育成委員会 委員 高 橋 雄 大

若い世代の主権者意識や政治参画を促すことを主たる目的とした2つの大きな事業の設営を軸に1年間有意義に活動させていただきました。

1つは我が国の最高法規である日本国憲法について、多くの市民の皆さんと共に考え議論する討議会の設営、もう1つは18歳選挙権の浸透を図るべく若い世代が投票所へ足を運ぶことの重大な意義について啓発するフォーラムの設営でした。

残念ながら後者は台風の直撃ため中止となりましたが、いずれの設営においても岡山県内のL O Mの皆さんの様々な意見や価値観等を理解し、議論や意見を交わすことができたことは、私自身の新たな気付きや学びに大きくつながる貴重な経験となりました。1年間素晴らしい時間を頂き、ありがとうございました。

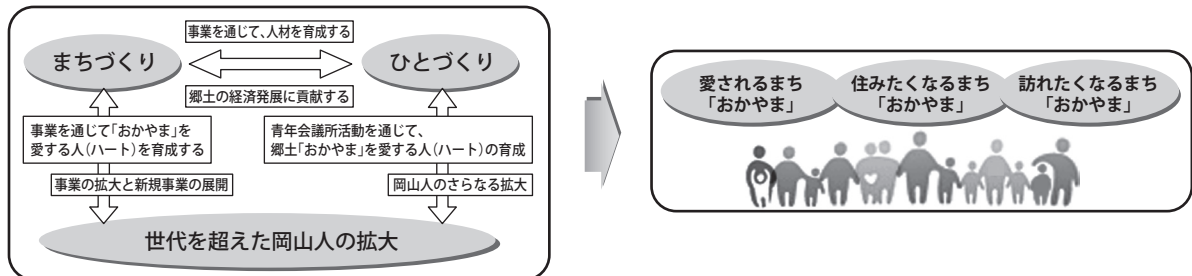
長期ビジョンスローガン

心から心の育成 ハートtoハート『おかやま』

～世代を超えた岡山人の伝承へ～

岡山青年会議所は事業を通じて、岡山人育成に力を入れていきました。岡山人育成の活動を広げていくためには、その活動を多くの人に理解してもらうことが重要です。今後は、岡山人のハート（心）に訴え、世代を超えて育成することが必要であると考えております。

長期ビジョンの考え方



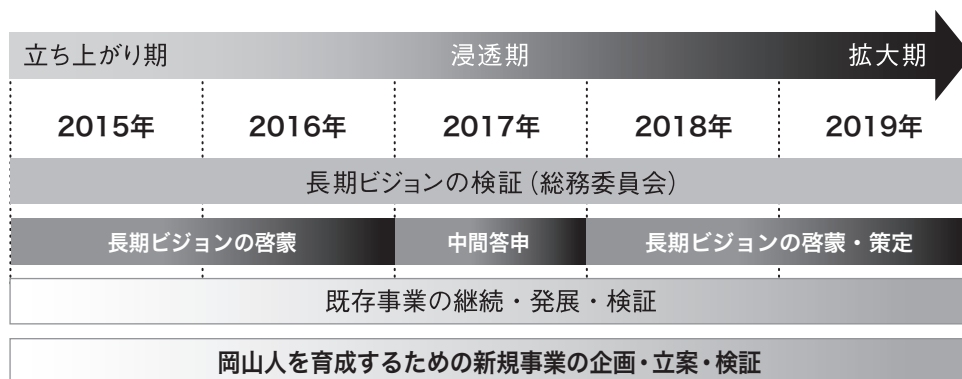
ひとづくり

青年会議所活動を通じて、岡山青年会議所会員自身の成長の場として活動し続け、郷土『おかやま』の発展のために行動できる人材の育成、また、青年会議所活動を経験した人材を輩出しさまざまな世代で活躍する人材の育成に繋がります。そして、郷土『おかやま』を愛する心を持つ者「岡山人」として様々な場面で世代の枠を超えた活動を共に展開する事により、世代を超えた「岡山人」の拡張、伝承を目指します。

まちづくり

青年会議所運動で培った能力を発揮して多くの「岡山人」と係わり、世代を超えた『おかやま』を愛する人（ハート）との繋がりを拡張、育成を積極的に行います。
また、郷土に思いのある方々と連携を行い、今まで以上に広がりのあるまちづくり事業を展開する事を目指します。

長期ビジョンアクションプログラム



- 年間10名以上の純増を目指し、2019年当初120名の会員を得ることを目標とする。
- 市民・他団体との連携を模索しつつ事業の企画・運営を行う事により、様々な世代との交流を通して『岡山人』育成の一助とする。
- 「うらじゃ」への協力を行う。

※ビジョン推進会議の設置

2017年に中間答申として2015年、2016年における事業に対する検証を行う。
2018年、2019年に新長期ビジョン策定のためのビジョン推進会議を設置する。

※長期ビジョンの検証

事業計画書に長期ビジョンとの合致点、事業報告書に長期ビジョン達成した点、達成しなかった点について記載し事業後の検証を行う。また、全事業終了後に総務委員会にて長期ビジョンの検証を行う。

Ⅳ 委員会活動報告

会員研修委員会

岸 紘 史

本年度高見理事長より、ひとづくり室会員研修委員会理事委員長の大役を仰せつかり、1年間研修スタッフとともに活動させていただきました。

岡山青年会議所の根幹である「ひとづくり」を担うにあたり、活動を通して修練を積むことで自律したリーダーの育成と、かけがえのない友情を育むことを意識して研修を行って参りました。

前期6名、後期14名の大切な新会員をお預かりし、まずは青年経済人として必要不可欠なマナーや礼儀を身につけるために新会員勉強会を実施いたしました。前期・後期それぞれ6回、特別会員の方々を講師としてお招きしての会員研修委員会では、岡山青年会議所での活動意義やリーダーシップについて、多くの気づきや学びを得られたことと考えております。3分間スピーチでは自分自身と向き合うことで自己開示を促し、自己成長のビジョンを明確にしました。アトラクションでは困難に対し新会員同士が団結して挑むことで同期の絆を深め、達成感と感動を経験することができました。そして最後に研修期間の集大成としてL O Mサービス事業の企画・運営を通じて事業の目的や仕組み、おもてなしの精神を学び、自律したリーダーへ成長できたと確信しております。

最後になりますが、高見理事長をはじめ執行部理事の皆様、1年間ご指導ご支援し続けてくださった李副理事長、新会員に対し温かいご指導ご鞭撻を賜りました特別会員、現役会員の皆様、そして最後まで新会員の為に委員会を支えてくれた委員会メンバーに心より感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

リソース向上委員会

古 市 聖一郎

本年度、高見理事長よりリソース向上委員会の委員長を拝命し、L O M最大の課題である拡大活動に、委員会メンバー一同と取り組みました。

岡山J Cのリソース（人材・資質）の向上という職務もいただきましたので、拡大とメンバーの資質向上を1年間意識し、岡山J Cメンバーが見た目も中身もかっこよく、スマートになることを目指し、そのことが「自分もこのメンバーの中に入って活動したい」という新たな人材に巡り会えることにつながると考え実行して参りました。

そのために年に2回の拡大セミナーを開催いたしました。4月は元スターバックスジャパンC E Oの岩田松雄氏をお招きして、リーダーシップをテーマに学び、9月は政治家やファッション誌などでスタイリストをされている森岡弘氏をお招きし、ビジネスシーンにおける正しいスーツの着こなしなどを拡大対象者とメンバーが一緒に学びました。

年間38名の拡大目標に対しては、前期に14名、後期に9名と、セミナーや地道な拡大活動の甲斐あってそれなりの数値を残すことができましたが、長期ビジョンにもある、2020年に120名のL O Mを目指すためには来年度以降も拡大活動に今以上に力を入れていく必要があります。本年度学んだことを次年度以降に活かし、今後も拡大活動を続けていきたいと思っております。最後に1年間ご指導いただきました李副理事長、支えてくれた委員会メンバーの皆様に感謝を申し上げ、事業報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

スケーラビリティ創造委員会

末 長 一 範

本年度、高見理事長の掲げられた「拡張性」を委員会名に掲げる当委員会としては、我々岡山青年会議所だけでは実現できないことも、行政や他団体の力を借りれば実現できることがあると考え、常に「拡張性」を意識して行動して参りました。事業の推進にあたってはインパクトの強い、まちに影響を与えられる事業を実施すべく、多方面と連携を取り、協力や支援を仰ぎながら計画いたしました。

「キッズスポーツフェスティバル」では岡山シーガルズに協力をいただきバレーボール編を、ファジアーノ岡山に協力をいただきサッカー編をそれぞれ実施。いずれの事業も、目的であったスポーツをはじめるきっかけづくりや岡山の誇りを感じてもらうことが達成できたと考えています。

そして今年で4回目の開催となった「キッズビジネスパーク」では、拡張性の名のもとに参加児童数1,001名、総来場者数6,201名、出展ブース数54ブース、協力企業40社（+PRブース12社）、協賛企業42社、協力校5校、ボランティア数170名という、すべてが過去を上回る実績で岡山青年会議所としても類を見ない規模で開催することができました。

今後ますます求められるであろう岡山青年会議所のブランディング活動に、当委員会の活動が少しでも寄与できていれば幸いです。最後になりますが、このような経験をさせてくださった高見理事長、いつも温かく応援してくださった小林副理事長をはじめ、現役会員の皆様、そして何より委員会メンバーの皆様に感謝を申し上げ、委員会活動報告とさせていただきます。1年間本当にありがとうございました。

まちづくり委員会

正 保 宏 倫

本年度高見理事長の掲げる「為虎添翼 限界突破インテンション」のスローガンのもと拡張性を意識したうえで、まちづくり委員会は「第24回うらじゃ」「うらじゃ開催支援広告募集事業」の事業を行いました。「第24回うらじゃ」においては総務部会として本祭運営に携わせて頂き、県内最大のお祭りの運営などを学ぶとともに、市や警察との折衝を繰り返す中でまちづくり事業としての進め方など普段の生活では経験できない貴重な事を委員会メンバーに学ばせていただきました。「うらじゃ開催支援広告募集事業」の中では、岡山県内でご活躍の企業の皆様に岡山のまつりうらじゃについてしっかりご理解をいただいたうえで協賛いただき、今後もうらじゃを通し、郷土おかやまのまちづくりを展開していくことに賛同していただき、うらじゃをともに盛り上げていただける活動が出来たと考えます。うらじゃ振興会においても事務局として携わせて頂き、地域振興の動きなどを学ぶことが出来ました。最後に迷った時には優しく手を差し伸べて頂きました諸先輩方、親身になって叱咤激励をくださいました小林副理事長はじめ現役の皆様に御礼申し上げ委員会事業報告とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

渉外委員会

柴 田 収

本年度、渉外委員会ではL O Mの渉外活動と公益社団法人日本青年会議所中国地区協議会事務局の運営という二つの活動を行いました。

L O Mの渉外活動としては、友好L O Mとの交歓会において皆様のご協力をいただき地域同士の交流を深めることができました。そして、設営側である高松青年会議所との交歓会において両L O Mの活動等を紹介する設えにし、高松青年会議所の皆様から多くのお褒めの言葉をいただきました。また、A S P A Cや県外事業では、多くのメンバーの方に参加をいただき、地区コンファレンスでは全員登録をしていただきました。

中国地区協議会事務局の運営としては、同協議会会長として出向されました佐野範一君を補佐すべく、役員会議・正副会議・会員会議所会議を設営いたしました。また、地区事業説明会、会員会議所毎の地区ナイト、倉敷の地で行われた地区コンファレンス、地区担当常任理事会、会頭公式訪問などさまざまな設営をしたり、地区会長とともに中国地区54 L O Mの周年事業や中国地区5ブロックの会員会議所に訪問したりいたしました。

出向活動が中心のため他のメンバーには活動内容が伝わりにくいですが、数多くの担いを通して委員会メンバーが大きく成長する一年となりました。このような機会を与えてくださった高見理事長と佐野会長、何よりも一年間精力的に活動してくれました委員会メンバーの皆様に心から感謝を申し上げ活動報告とさせていただきます。

交流推進委員会

仲 村 陽 平

本年度高見理事長の掲げられてきた「～為虎添翼 限界突破インテンション～」のスローガンのもと、交流推進委員会はこの一年間を通して交流を育み、それぞれが肝胆相照らす仲間となつていただくこと、そして腹心の友を為すことを念頭に委員会活動を行って参りました。

それは無論、先輩方との交流、各地青年会議所との交流、メンバー通しの交流をいかに心地よい空間の中で親交を深めると同時に、気づきや学びのある空間、時間を「おもてなし」の精神で設営させていただくことが我々委員会メンバーの目指すところでありました。

凜とした空気を纏った新年賀詞交換会、舞妓による舞のおもてなしを行った京都会議出向者支援L O Mナイト、L O Mメンバー全員で楽しんだサマコンL O Mナイト、埼玉の地で行われた卒業生を中心にした全国大会L O Mナイト、そして最後に大阪の地で行われました52年生まれの方々の追い出し旅行を企画・運営してまいりました。委員会メンバーの多くが歴3年未満という中ではありましたが、できる限りの利他の精神のもと一年間突っ走ってきたと思います。全ての委員会メンバーにとって学び多き一年となったことと思います。

最後になりましたが、この成長の機会を与えていただきました高見理事長、また、交流推進委員会の活動に対しましてご支援いただきましたL O Mメンバーの皆様、そして一年間を通して様々な活動を共にした委員会メンバーの皆さまに感謝申し上げます。

例会委員会

藤 井 大 温

本年度、高見理事長より、総務室例会委員会理事委員長をご指名いただきメンバーと共に本年度のスローガンである「為虎添翼 ～限界突破インテンション～」のスローガンのもと一年間活動をさせていただきました。

特別会員・現役会員合同例会やプロ長公式訪問例会、企画例会と例会の設営を主に担当をさせていただきました。岡山青年会議所メンバーが一堂に会する例会。その中で岡山青年会議所らしい凜としたメリハリのある設営を心がけてきました。そしてメンバー一人ひとりが事業を重ねていく過程で成長していく姿を見ることが出来ました。自己成長することが自分の会社にもL O Mにとっても最大の力になると考えています。私も岡山青年会議所に所属するメンバーとして会の魅力を伝え、少しでも成長する手助けが出来たことは私にとっても貴重な実体験をさせていただきました。

最終年度にこの委員会メンバーと共に過ごせたことを心から感謝しております。そして多くの特別会員、現役会員の皆様にご支援ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。1年間誠にありがとうございました。

総務・広報委員会

金 沢 竜 志

本年度の総務・広報委員会は、一般企業と同様にガバナンスの効いた適材適所を念頭に組織化を図り、高見理事長の下、「規律ある凛とした組織運営」を最大の軸として1年間活動してまいりました。透明性や公平性を保った厳格な組織運営を常に意識し、庶務全般のフォーマットの見直しや、経費や時間の無駄を省くこと、そしてLOMに関連する内外の情報を集約し、共有することで、常に連携がとれた組織運営ができました。また広報活動では、公益社団法人として恥じないコンプライアンス遵守の徹底、そして個人情報の管理を念頭にホームページやSNSを活用し、一般市民の皆様や行政を踏まえた関係各位にタイムリーな情報発信をすることができました。そして、広報誌「暖流」の発行では、セオリーに捉われることなく内容を精査し、その上で配信を一部デジタル化へ移行することで、岡山青年会議所のブランディングを推し進めることができた1年間となりました。

結びに、岡山青年会議所の心髄を追求し、価値を高める様々な活動を積極的に実践できたのも、すべてはご支援を賜った皆様方のお陰でございます。紆余曲折はありながらも互いを尊重し、一人一人が未来を見据えた知識、見識、胆識をもって活動してくれた委員会メンバー、そして多くのご指導、ご鞭撻、そして叱咤激励を賜りました特別会員の皆様に心より感謝申し上げ、1年間の報告とさせていただきます。

V 会 議

1. 総 会

■第1回定時総会

開 催 日 時 2017年3月1日(水)

開 催 場 所 岡山プラザホテル

総 会 員 数 80名

出席した会員数 80名

内訳 本 人出席70名

委任状出席10名

- 【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2016年度 事業報告(案)に関する件
2号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2016年度 決算報告(案)に関する件
3号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2017年度 修正予算(案)に関する件

■第2回定時総会

開 催 日 時 2017年7月5日(水)

開 催 場 所 岡山プラザホテル

総 会 員 数 92名

出席した会員数 92名

内訳 本 人出席85名

委任状出席 7名

- 【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2018年度理事選任及び理事長の推薦(案)に関する件

■第3回定時総会

開 催 日 時 2017年7月18日(火)

開 催 場 所 岡山プラザホテル

総 会 員 数 92名

出席した会員数 92名

内訳 本 人出席83名

委任状出席 9名

- 【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2018年度 理事及び監事の選任、並びに執行部理事の推薦(案)に関する件

■第4回定時総会

開 催 日 時 2017年8月9日(水)

開 催 場 所 岡山プラザホテル

総 会 員 数 92名

出席した会員数 92名

内訳 本 人出席83名

委任状出席 9名

- 【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2018年度 理事の選任(案)に関する件

■第5回定時総会

開 催 日 時 2017年12月22日(金)

開 催 場 所 岡山プラザホテル

総 会 員 数 92名(内休会者 1名)

出席した会員数 91名

内訳 本 人出席83名

委任状出席 8名

- 【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 定款改定（案）に関する件
 2号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2018年度 事業計画（案）に関する件
 3号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2018年度 収支予算（案）に関する件
 4号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2018年度 組織図（案）に関する件

■第1回臨時総会

開催日時 2017年1月13日（金）
 開催場所 岡山国際ホテル
 総会員数 81名
 出席した会員数 81名
 内訳 本人出席76名
 委任状出席 5名

- 【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2017年度 監事選任（案）に関する件

2. 理 事 会

■第1回 執行部・理事合同会議

日時：2017年1月10日（火）19:00～21:00
 場所：JCルーム
 審議事項
 （1）監事選任（案）に関する件
 （2）2017年度 組織図の改定（案）に関する件
 （3）4月ビジネスセミナーの事業計画（案）に関する件
 （4）後援追加の事業計画（案）に関する件
 （5）会員資格規定 第3条 第4項に基づく推薦者3名以上の推薦（案）に関する件
 （6）2017年度 前期新会員 8名入会（案）に関する件

■第2回 理事会

日時：2017年2月21日（火）19:00～21:00
 場所：JCルーム
 審議事項
 （1）2017年度 出向者（案）に関する件
 （2）うらじゃ開催支援広告協賛募集事業の事業計画（案）に関する件
 （3）4月企画例会の事業計画（案）に関する件
 （4）公益社団法人岡山青年会議所 2016年度 決算資料（案）に関する件
 （5）公益社団法人岡山青年会議所 2017年度 修正予算資料（案）に関する件
 （6）【一部審議】スポーツのまち「おかやま」（バレーボール）の事業計画（案）に関する件
 （7）【一部審議】スポーツのまち「おかやま」（サッカー）の事業計画（案）に関する件

■第3回 理事会

日時：2017年3月21日（火）19:00～21:00
 場所：JCルーム
 審議事項
 （1）スポーツのまち「おかやま」（バレーボール）の事業計画（案）に関する件
 （2）スポーツのまち「おかやま」（サッカー）の事業計画（案）に関する件

■第4回 理事会

日時：2017年4月18日（火）19:00～21:00
 場所：JCルーム
 審議事項
 なし

■第5回 理事会

日時：2017年5月16日（火）19：00～21：00

場所：JCルーム

審議事項

なし

■第6回 理事会

日時：2017年6月6日（火）19：00～21：00

場所：岡山プラザホテル

審議事項

- （1）前期新会員の後期委員会配属（案）に関する件
- （2）2017年度 組織図（案）に関する件
- （3）4月ビジネスセミナーの事業報告（案）に関する件
- （4）特別会員・現役会員合同新年賀詞交換会の事業報告（案）に関する件

■第7回 理事会

日時：2017年7月5日（水）16：00～18：00

場所：岡山プラザホテル

審議事項

- （1）2017年度 出向者並びに役職変更（案）に関する件
- （2）2017年度 理事長セクレタリー（案）に関する件
- （3）公益社団法人岡山青年会議所 2017年度 後期入会審議（案）に関する件
- （4）会員資格規定 第3条 第4項に基づく推薦者3名以上の推薦（案）に関する件
- （5）スポーツのまち「おかやま」（バレーボール編）の事業報告（案）に関する件
- （6）9月ビジネスセミナーの事業計画（案）に関する件
- （7）キッズビジネスパーク2017の事業計画（案）に関する件
- （8）9月第二例会 特別会員・現役会員合同例会・懇親会の事業計画（案）に関する件

■第8回 執行部・理事合同会議

日時：2017年7月18日（火）16：00～16：50

場所：岡山プラザホテル

審議事項

- （1）2018年度 執行部（案）に関する件
- （2）投票によって選任される理事の定数（案）に関する件
- （3）4月企画例会の事業報告（案）に関する件

■第9回 執行部・理事合同会議

日時：2017年8月8日（火）19：00～21：00

場所：JCルーム

審議事項

なし

■第10回 執行部・理事合同会議

日時：2017年8月29日（火）19：00～21：00

場所：JCルーム

審議事項

- （1）休会（案）に関する件

■第11回 執行部・理事合同会議

日時：2017年9月19日（火）19：00～21：00

場所：J C ルーム

審議事項

なし

■第12回 理事会

日時：2017年10月17日（火）19：00～21：00

場所：J C ルーム

審議事項

（1）スポーツのまち「おかやま」（サッカー編）の事業報告（案）に関する件

（2）12月第一例会 さよなら例会開催の事業計画（案）に関する件

■第13回 理事会

日時：2017年11月21日（火）19：00～21：00

場所：J C ルーム

審議事項

（1）9月ビジネスセミナーの事業報告（案）に関する件

（2）公益社団法人岡山青年会議所 定款改定（案）に関する件

■第14回 執行部・理事合同会議

日時：2017年12月5日（火）18：00～20：00

場所：J C ルーム

審議事項

（1）キッズビジネスパーク2017事業報告（案）に関する件

（2）うらじゃ開催支援広告協賛募集事業の事業報告（案）に関する件

（3）9月第二例会 特別会員・現役会員合同例会・懇親会の事業報告（案）に関する件

■臨時理事会

日時：2017年3月1日（水）17：00～17：30

場所：岡山プラザホテル

審議事項

（1）4月企画例会の事業計画（案）に関する件

Ⅵ 例 会

開催日	会 場	出席者	記 事
1月13日	岡山国際ホテル	81名	特別会員・現役会員合同新年賀詞交換会 新会員バッジ授与式
2月 8日	岡山プラザホテル	76名	新会員3分間スピーチ 新会員コミュニティ
3月 1日	岡山プラザホテル	77名	第1回定時総会
3月22日	岡山プラザホテル	72名	ブロック会長公式訪問例会
4月12日	THE STYLE GRANJYUR	69名	企画例会
5月10日	岡山プラザホテル	63名	
6月14日	岡山プラザホテル	77名	配属コミュニティ
7月 5日	岡山プラザホテル	88名	第2回定時総会（次年度理事長推薦） 新会員バッジ授与式
7月18日	岡山プラザホテル	89名	第3回定時総会（次年度執行部推薦） 理事選挙チャレンジスピーチ
8月 9日	岡山プラザホテル	89名	第4回定時総会（次年度理事委員長推薦） 新会員3分間スピーチ
9月 6日	岡山プラザホテル	87名	新会員コミュニティ
9月21日	岡山プラザホテル	87名	OB合同例会
10月11日	岡山プラザホテル	81名	
11月15日	岡山プラザホテル	82名	出向者報告
12月12日	福武ジョリービル	89名	さよなら例会
12月22日	岡山プラザホテル	82名	第5回定時総会

Ⅶ 諸 事 業

開 催 日	記 事
1月10日	新年参拝（最上稲荷）、新年挨拶廻り
1月13日	新年賀詞交換会（岡山国際ホテル）
1月19日～22日	京都会議（京都国際会議場）
2月 6日	歴代理事長会議（荒手茶寮）
3月18日	岡山ブロック協議会新会員研修会（岡山プラザホテル）
3月22日	岡山ブロック協議会会長公式訪問例会（岡山プラザホテル）
4月13日	さくらカーニバル後の清掃（旭川河川敷）
4月23日	全国一斉！国民討議会岡山大会（コンベックス岡山）
4月25日	4月ビジネスセミナー（講師：岩田 松雄氏）
4月30日	岡山ブロック会員懇親野球大会（津山）
5月11日	岡山ブロックじゃがいも大会（高梁）
5月21日	キッズスポーツフェスティバルバレー編（中国短期大学）
6月 8日～11日	A S P A C（ウランバートル）
6月18日	親睦事業（サントピア岡山総社）
6月21日	大阪J C・岡山J C交歓会（大阪）
6月25日	岡山ブロック大会（玉島）
7月 1日	キッズスポーツフェスティバルサッカー編（シティライトスタジアム）
7月 9日～13日	国際アカデミー（熊本）
7月22日～23日	サマーコンファレンス（横浜）
8月 5日～ 6日	第24回うらじゃ
8月26日	観光地クリーン運動（岡山城周辺）
9月 2日	キッズビジネスパーク（コンベックス岡山）
9月 9日	中国地区コンファレンス（倉敷）
9月10日	中国地区球技大会（備前）
9月21日	特別会員・現役会員合同例会
9月25日	9月ビジネスセミナー（講師：森岡 弘氏）
9月28日～10月1日	全国大会（埼玉中央）
10月 8日	岡山ブロックサッカー大会（備前）
10月23日	津山J C・岡山J C交歓会（津山）
10月26日	高松J C・岡山J C交歓会（岡山）
11月 6日～10日	世界会議（アムステルダム）
11月19日	52年生追い出し旅行（大阪）
11月23日	ブロックアカデミー（操山公園里山センター）
11月25日	ブロック本次年度合同引継ぎ（岡山プラザホテル）
11月27日	広島J C・岡山J C交歓会（広島）
12月 4日	倉敷J C・岡山J C交歓会（倉敷）
12月12日	さよなら例会（福武ジョリービル）
12月21日	岡山ブロックJ C O B会（岡山国際ホテル）
12月22日	クリスマス家族会（岡山プラザホテル）

VIII 褒 賞 関 係

1. 褒章委員会

最優秀賞 リソース向上委員会、スケーラビリティ創造委員会
為虎添翼賞 まちづくり委員会

2. 100%例会出席者

【執行部】

高見 宣哉、佐野 範一、岡部憲一郎、久松 朋史、李 大成、小林 佑輔
青木 浩平、野上 昌範、磯島 慈海

【会員研修委員会】

岸 紘史、石井 聖至、山田 周作、中村 彰宏、嶋田 昌浩、牧本 太郎
三垣 章一

【リソース向上委員会】

古市聖一郎、杉 大和、本多 高明、青山 雅史、芦田加奈子、香川 陽一

【スケーラビリティ創造委員会】

高山 晃一、矢野 大輔、綾部健二郎、中山 友二、市井 秀樹、笹倉 歩

【まちづくり委員会】

正保 宏倫、池岡 弘康、藤井 彰一、岡本 浩、前田 淳、大森 将平

【渉外委員会】

井戸 啓太、關 和敏、広瀬 政子、藤原由季子

【交流推進委員会】

仲村 陽平、岡 恭弘、加藤 高明、林 俊宏、松田龍乃輔

【例会委員会】

藤井 大温、大瀧 健嗣、西山 武志、高橋 雄大、竹田 直也、山畑 和久、
佐藤 道康

【総務・広報委員会】

金沢 竜志、安部 真良、田所 敦志、瓶井 潔英、幡山 益聖、二垣 幸広、
馬場 紀行、白岩 真人